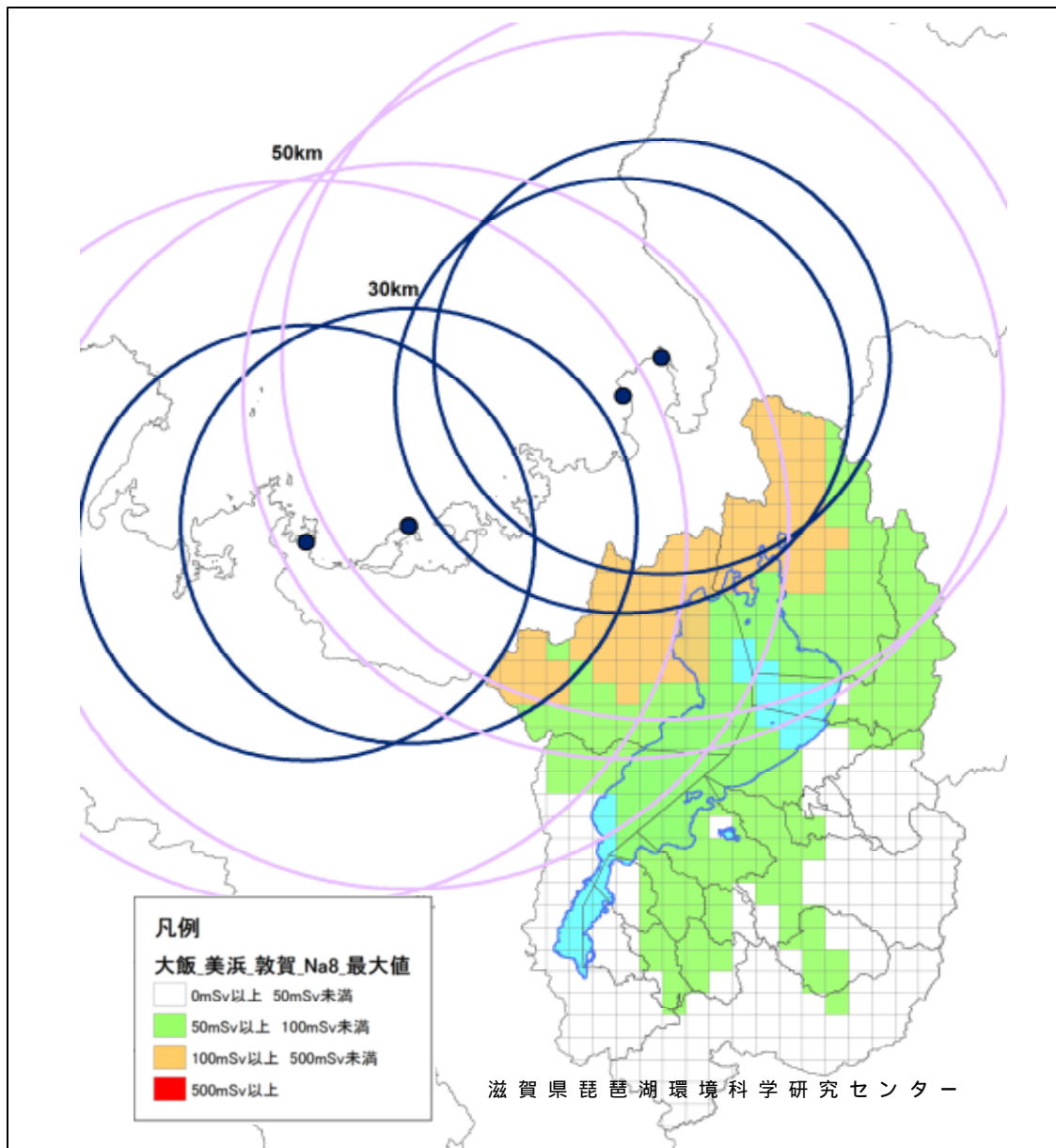


放射性物質拡散予測結果（甲状腺被ばく等価線量）



予測の前提条件

放出量：ヨウ素 2.4×10^{16} Bq

放出時間：6 時間

排出高さ：第3 層（約44m～73m）

放出想定発電所：日本原子力発電（株）敦賀発電所、関西電力（株）美浜発電所、
関西電力（株）大飯発電所、関西電力（株）高浜発電所

シミュレーション日の選定：2010 年のアメダスのデータを基に、滋賀県に影響が大きくなると考えられる日を選定

積算線量の計算方法：第1層の濃度を用いて計算を行い、1 時間ごとの被ばく線量を計算し、24 時間分を積算。

滞在時間：屋外8 時間、屋内16 時間

図示方法：美浜60ケース、大飯36ケース、敦賀、高浜各5ケース分のシミュレーション結果から最高値となる区域の分布を示す。

